令和７年度採用　高等学校　家庭

教科（科目）	受験番号
家庭	

1

（１）　次の文は，幼児の日常着の選び方についての説明である。**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１１。

① 首元が広くあいているもの。
② 腹部を締め付けないもの。
③ 足首の開口部をひもで開閉できるもの。
④ 吸湿性があるもの。
⑤ 洗濯に耐える丈夫なもの。

（２）　次の文は，予防接種についての説明である。最も適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１２。

① 予防接種には，定期接種と任意接種があり，保護者は，対象者に定期接種を受けさせる努力義務がある。
② 四種混合とは，百日せき，ジフテリア，破傷風，麻疹である。
③ すべての予防接種は，１歳以上にならないと接種することはできない。
④ HPV ワクチン（子宮頸がんなど HPV 感染症）は，小学校就学前に接種することが望ましい。
⑤ 母親がＢ型肝炎キャリアの場合は，Ｂ型肝炎予防接種の必要はない。

2025 kyosai-guild.jp

（３） 次の二つのグラフは，児童虐待に関するものである。（ア），（イ），（ウ）に該当する語句の組合せとして最も適切なものを，下記の①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は１３。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

児童虐待の相談種別の件数　児童虐待相談における主な虐待者別構成割合の年次推移

（厚生労働省「令和３年度　福祉行政報告例の概況」より）

	（ア）	（イ）	（ウ）
①	身体的虐待	実母	実父
②	心理的虐待	実母	実父
③	ネグレクト	実母	実父
④	性的虐待	実母	実父
⑤	身体的虐待	実父	実母
⑥	心理的虐待	実父	実母
⑦	ネグレクト	実父	実母
⑧	性的虐待	実父	実母

（４） 次の文は，「令和５年版高齢社会白書（内閣府）第２節　高齢期の暮らしの動向　３　学習・社会参加（2）社会参加　65 歳以上の者の社会活動への参加状況」について書かれたものである。最も適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１４。

① １年間に活動または参加した高齢者の割合は 50％以上である。

② 子育て支援（保育への手伝い等）に参加した高齢者の割合は 10％以上である。

③ 地域行事（祭りなどの地域の催しものの世話等）に参加した高齢者の割合は，男性よりも女性が高い。

④ 健康・スポーツ（体操，歩こう会，ゲートボール等）に参加した高齢者の割合は，男女とも 65 ～ 69 歳の層が最も高い。

⑤ 趣味（俳句，詩吟，陶芸等）に参加した高齢者の割合は，女性よりも男性が高い。

2025 kyosai-guild.jp

2

（1） 次の表は，じゃがいものみそ汁の材料と分量（4人分）である。（　ア　），（　イ　）に当てはまる数字として正しい組合せを，下記の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は１５。

＜4人分＞
水・・・・・600mL＋蒸発分200mL
みそ・・・・40 g（塩分含有量12%）
煮干し・・・20 g
じゃがいも　（　ア　）g

○4人分のみそ汁の材料にするじゃがいもの可食部の重量は200 gである。ただし，じゃがいもの廃棄率は10%であるため，準備する量は約（　ア　）gになる。
○このみそ汁の塩分濃度は（　イ　）%である。

	（ア）	（イ）
①	180	0.8
②	222	0.8
③	380	0.8
④	180	0.6
⑤	222	0.6
⑥	380	0.6

（2） 次の文は，炭水化物について書かれたものである。最も適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１６。

① でんぷんは，穀類，いも類，肉類に多く含まれる。
② でんぷんは，生では味も消化も悪いが，水とともに加熱すると味も消化も良くなる。この変化をβ化という。
③ しょ糖を構成している糖は，ぶどう糖とガラクトースである。
④ 不溶性の食物繊維であるセルロースは甲殻類に含まれることが多い。
⑤ 食物繊維は消化されないが，腸の調子を整え，健康の保持のために必要である。

2025 kyosai-guild.jp

（３）「第４次食育推進基本計画」についての記述として**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１７。

① 家族が食卓を囲んで共に食事をとりながらコミュニケーションを図ることは，食育の原点である。
② 成人男性には肥満者が多いこと，若い女性にはやせの者が多いこと，高齢者では男女とも低栄養傾向の者の割合が高いこと等，食生活に起因する課題は多い。
③ 日本の食品ロスの約半分は家庭からの排出である。
④ 家庭においては，普段の食料品を少し多めに買い置きし，消費した分を補充するサプライチェーンによる日常の食料品の備蓄を行い，災害時に備える。
⑤ 学校給食を「生きた教材」として活用することで，食育を効果的に推進する。

（４） 次の文は，日本の食文化について説明したものである。**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１８。

① 日本では，米を中心に，野菜，魚介類，大豆とその加工品などを多く用いた一汁三菜を基本とした食事様式が室町時代頃に始まり，江戸時代にほぼ完成した。
② 日本の伝統的な食文化は，和食として 2013 年にユネスコ無形文化遺産に登録された。
③ 各地域の産物を活用し，風土にあった食べ物を受け継いでいる郷土料理や，年中行事で食される行事食は和食の特徴の一つである。
④ だしの「うま味」を活用し，動物性油脂を多用しない和食の特徴は，肥満防止に寄与する。
⑤ 人生の節目や祭りの際などにつくる「ごちそう」をケの食事という。

2025 kyosai-guild.jp

3

（1） 次の文は，ミシンの使い方について説明したものである。**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１９。

① 縫い始めは，糸を左手で軽く押さえ，はずみ車を手前に回し，針を縫い始めの位置に刺す。レバーを下げて押さえを下ろし，ゆっくりと縫い始める。

② 縫い終わりは，針を上げ，押さえも上げる。布をむこう側に引く，糸を 10cmほど残して切る。

③ 角の縫い方は，布に針を刺したままミシンを止め，押さえを上げる。針を軸にして布を回し，押さえを下ろして再び縫う。

④ 縫い目が飛ぶ主な原因は，針が曲がっていたり，針の付け方が間違っていたりすることである。

⑤ 縫い目の大きさは，上糸調整装置で調整する。

2025 kyosai-guild.jp

（２） 次の表は，被服に使われるおもな繊維の種類と特徴について書かれたものである。（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを，下記の①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は２０。

種類			特徴
天然繊維	植物繊維	（ア）	・はり，こしがある ・さわると冷感がある
化学繊維	半合成繊維	（イ）	・吸湿性が高い ・絹に似た光沢がある
	合成繊維	（ウ）	・比較的熱に強い ・化学繊維の中で最も消費量が多い

	（ア）	（イ）	（ウ）
①	絹	アセテート	ポリエステル
②	絹	アクリル	ポリウレタン
③	絹	アセテート	ポリウレタン
④	絹	アクリル	ポリエステル
⑤	麻	アセテート	ポリエステル
⑥	麻	アクリル	ポリウレタン
⑦	麻	アセテート	ポリウレタン
⑧	麻	アクリル	ポリエステル

（３）「SUSTAINABLE FASHION（環境省）」に取り上げられている，持続可能な衣生活についての説明として**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２１。

① 手放された服の約 19％しかフリマアプリや回収などを通じ古着としてリユースされていない。
② 1990 年と比較すると，2021 年の衣服の購入量，供給量はともに横ばいである。
③ 日本で売られている衣服の約 98％が海外からの輸入である。
④ オーガニックコットンや再生原料などサステナブルな素材を選択することで環境負荷を削減できる。
⑤ 国内に供給される衣服の製造に必要な水の量のうち約９割は綿の栽培によるものである。

2025 kyosai-guild.jp

4

（１） 次の文は，省エネルギー住宅についての説明である。**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２２。

① 省エネルギー住宅を実現するためには，断熱，日射遮蔽，気密の３つが対策の柱となる。
② 環境とエネルギーに配慮した住居として，エネルギー自給型住宅（ネット･ゼロ･エネルギー・ハウス）の推進が始まっている。
③ 日本の家庭のエネルギー消費において，約50％を占めているのが暖冷房である。
④ 省エネルギー住宅は，室温の変化が少ないため，ヒートショックが起きにくい。
⑤ 環境共生住宅の特徴には，省エネルギー，省資源，水資源の有効活用，周辺の生態系との調和，健康で快適な居住環境の形成が挙げられる。

（２） 次の文は，家庭内の事故についての説明である。**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２３。

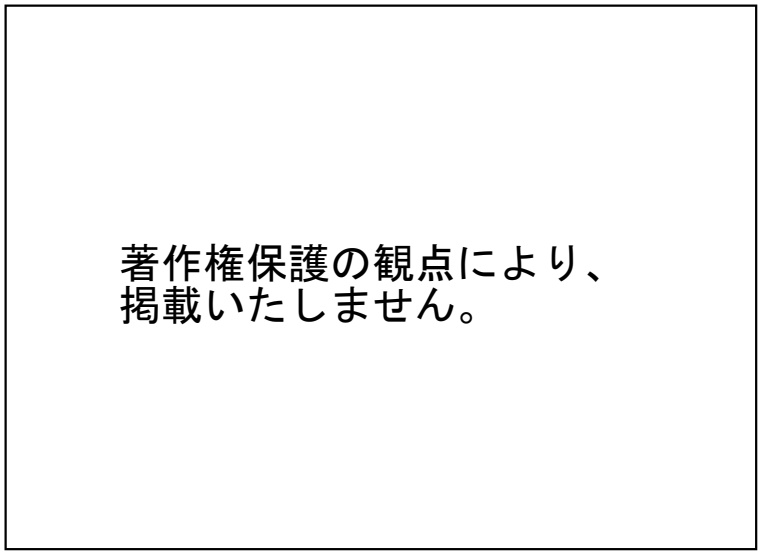
① 家庭内事故で亡くなる人は，年代によっては交通事故で亡くなる人よりも多い。
② ［消費者庁令和４年度「子どもの不慮の事故の発生傾向」～厚生労働省「人口動態調査」より～］によると，令和３年の子ども（０～14歳）の「不慮の事故」による死因の１位は，不慮の窒息である。
③ 令和４年度版の消防白書（資料編）（総務省消防庁）によると，建物火災の主な出火原因の１位はこんろである。
④ 電源プラグの周囲にほこりや湿気が付着することにより，差込口から出火することをトラッキング現象という。
⑤ 消費者庁（令和４年１２月作成）「高齢者の不慮の事故」によると，６５歳以上の不慮の事故による死因の１位は，不慮の窒息である。

2025 kyosai-guild.jp

5

（1） 次の図は，クレジットカードの三者間契約についてである。（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを，下記の①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は２４。

クレジットカードのしくみ



	（ア）	（イ）	（ウ）
①	代金先払い	身分証明書	立て替え払い
②	代金先払い	クレジットカード	立て替え払い
③	代金先払い	身分証明書	代金貸付
④	代金先払い	クレジットカード	代金貸付
⑤	代金後払い	身分証明書	立て替え払い
⑥	代金後払い	クレジットカード	立て替え払い
⑦	代金後払い	身分証明書	代金貸付
⑧	代金後払い	クレジットカード	代金貸付

2025 kyosai-guild.jp

（２） 次の文は，消費者問題についての説明である。**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２５。

① 通信販売はクーリング・オフ制度は適用されない。

② 消費者契約法では，訪問販売で退去を断り居座った際の契約は取り消すことができると定められている。

③ 消費者ホットラインの電話番号は１８８である。

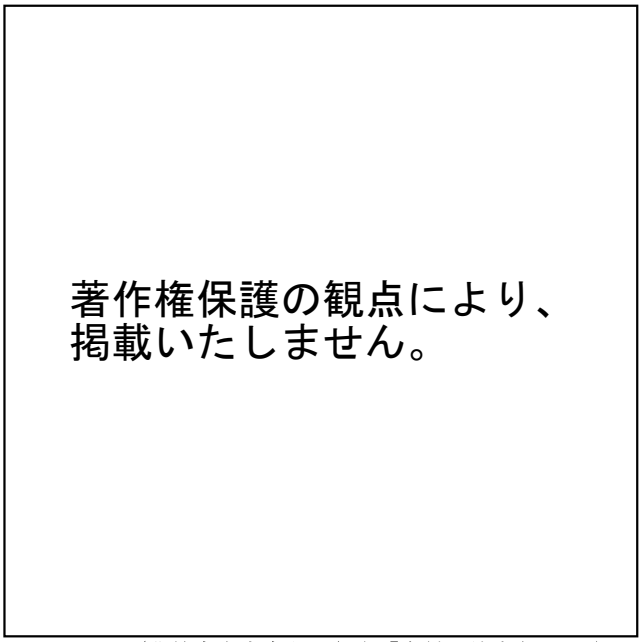
④ 未成年者であっても自分が成人であると偽って行った契約は，無効とならない。

⑤ 電子消費者契約及び電子承諾通知に関する民法の特例に関する法律（電子契約法）では，パソコン等の画面上に申込み手続きを設定するような契約のうち，操作ミスによる契約は無効にならないと定められている。

2025 kyosai-guild.jp

（３） 次の表は，令和４年度の品目別の食料自給率（概算）である。（ア）～（ウ）に当てはまる数字の組合せとして最も適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２６。

品目別の食料自給率
（令和４年度，重量ベース）



（農林水産省令和４年度「食料需給表」 より）

	（ア）	（イ）	（ウ）
①	99	6	53
②	99	10	33
③	90	16	40
④	89	10	33
⑤	89	6	40

2025 kyosai-guild.jp

（４） 次の文は，エネルギー消費について書かれたものである。**適切でないもの**を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２７。

① 2000 年代に入って，日本のエネルギー消費量は減少している。

② 地熱を使って発電することを，バイオマス発電という。

③ 1992 年の地球サミットをきっかけに，1997 年に気候変動枠組条約第３回締約国会議で京都議定書が採択された。

④ 太陽光，風力，水力によるエネルギーは，再生可能エネルギーという。

⑤ 国連は，「パリ協定」で，2030 年度までに温室効果ガスの排出を 2013 年度から 26％削減することを目標とした。

2025 kyosai-guild.jp

6 「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　家庭編」に記載されている内容について，次の設問（１）～（３）に答えよ，

（１） 次の各文は，「第１章　総説　第２節　家庭科改訂の趣旨及び要点」に記載された内容である。**適切でないもの**を下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２８。

① 少子化の進展に対応して，「家庭基礎」では，子育て支援，乳幼児と関わるための基礎的な技能，「家庭総合」では，子供の遊びと文化，子育て支援，子供の発達に応じた適切な関わり方の工夫などに関する内容の充実を図った。

② 高齢化の進展に対応して，いずれの科目においても高齢者の尊厳と介護 (認知症を含む) に関する内容を充実するとともに，「家庭基礎」では，高齢者の生活支援に関する基礎的な技能，「家庭総合」では，高齢者の心身の状況に応じた生活支援に関する技能などの内容の充実を図った。

③ 衣食住については，「家庭基礎」では，自立した生活を営むために必要な基礎的・基本的な内容を，「家庭総合」では，生涯を見通したライフステージごとの生活を科学的に理解させることを重視するとともに，いずれも，日本の伝統的な生活文化の継承・創造に関わる内容の充実を図った。

④ 消費生活・環境については，「家庭基礎」では，成年年齢の引き下げを踏まえ，契約の基礎や消費者保護の仕組みに関する内容を，「家庭総合」では，消費者被害の未然防止や対処方法に資する内容の充実を図った。

⑤ ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を引き続き重視するとともに，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして解決策を構想し，実践を評価・改善して，新たな課題の解決に向かう過程を重視した学習の充実を図った。

2025 kyosai-guild.jp

（2）「第２章　家庭科の各科目　第１節　家庭基礎」の「２　内容とその扱い」における「B　衣食住の生活の自立と設計」のうち，一部を抜粋したものである。（　A　）～（　E　）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。ただし，同じ記号には同じ語句が入る。解答番号は２９。

(2) 衣生活と健康

ア　次のような知識及び技術を身に付けること。

(ｱ)（　A　）や目的に応じた被服の機能と装着について理解し，健康で快適な衣生活に必要な（　B　）の収集・整理ができること。

(ｲ) 被服材料，被服構成及び被服衛生について理解し，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。

イ　被服の（　C　）や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた装着を工夫すること。

(3) 住生活と住環境

ア　（　A　）に応じた住生活の特徴，（　D　）などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し，適切な住居の計画･管理に必要な技能を身に付けること。

イ　住居の機能性や快適性，住居と（　E　）の関わりについて考察し，（　D　）などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫すること。

	（　A　）	（　B　）	（　C　）	（　D　）	（　E　）
①	ライフステージ	情報	機能性	防犯	家庭生活
②	発達段階	情報	機能性	防災	地域社会
③	ライフステージ	情報	機能性	防災	地域社会
④	発達段階	メディア	安全性	防犯	家庭生活
⑤	ライフステージ	メディア	安全性	防災	地域社会

2025 kyosai-guild.jp

（３） 次の文は,「第２部　第２章　家庭科の各科目　第５節　保育基礎」の目標である。この目標の説明について，最も適切なものを下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は３０。

> 第１　目標
>
> 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
>
> (1) 保育の意義や方法，子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
>
> (2) 子供を取り巻く課題を発見し，保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
>
> (3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

① 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせとは，保育に係る生活産業に関する事象を，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の伝承・創造，持続可能な社会の構築等の視点で捉え，保育と関連付けることを意味している。

② 体系的･系統的に理解するとは，子供の姿を発達の諸機能により細分化して捉え，各々を保育に関連付けながら，その特徴や課題などについて理解することを意味している。

③ 関連する技術を身に付けるとは，子供を見守る親として必要な，保育の基礎的な技術を習得することを意味している。

④ 子供を取り巻く課題を発見しとは，保育に関する社会全体の実態を捉えた上で，社会に応じた保育環境を整えることの重要性について思考を深め，課題を発見することを意味している。

⑤ 子供の健やかな発達を目指して自ら学びとは，子供たちの健やかな発達を保障するためには，家庭教育の充実が不可欠であることを認識し，豊かな人間性を養い，広い視野をもちながら学ことを意味している。

2025 kyosai-guild.jp

令和７年度採用　岐阜県公立学校教員採用選考試験
第１次選考試験　高等学校　家庭

解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	③	①	②	①	②	⑤	④	⑤	⑤	⑤

解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	②	③	⑤	⑥	⑤	①	②	④	③	①

2025 kyosai-guild.jp